

学会員の皆様へ

長崎へようこそいらっしゃいました。

熱帯医学会は日本医学会の構成学会の一つであり、50年以上の長い歴史を持つ学会です。学会員は現在650名で、Pubmed Central 掲載の Tropical Medicine and Health を年4号発刊しています。

熱帯医学会の強みは何と言っても途上国を中心に流行する熱帯あるいは新興感染症の制御を目的とした研究だと思います。しかしそれ以外にも、熱帯地域や貧困地域住民の健康を阻害する種々の問題（栄養不良、母子保健福祉、自然破壊、温暖化、気候変動、生活習慣病）が研究の対象となり、これらをひとまとめにしたグローバルヘルスという学問領域へとその対象を拡げています。

今年の大会では、テーマを「熱帯医学からグローバルヘルスへ」と題し、本学会あるいは熱帯医学研究者の活動が、今までの上から目線の国際貢献というものから、南北の立場を越えた人類共通の問題としての感染症や貧困病、環境問題解決に向けての国際協力へと変化していることを感じ取ってもらえるようなプログラムを企画しました。

参加される皆様に知的な刺激と喜びを満喫していただければ望外の喜びです。幸い今年から長崎大学の熱帯病・新興感染症分野に博士課程の新たなプログラムとしてグローバルリーダー育成プログラムが新設され、大学院関係の海外からの講師にも学会にご参加いただくことになりました。

この大会を通してたくさんの新たな共同研究やプロジェクトが生まれることを期待しております。

平成25年10月4日

第54回日本熱帯医学会大会

大会長 平 山 謙 二